



平成 20 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 宮入バルブ製作所
代 表 者 代表取締役社長 高井 洋
(コード番号 6495 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務部長 佐野邦男
(T E L 03-3535-5575)

(訂正)「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」の
一部訂正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 16 日公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」において一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正いたします。
なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

訂正箇所 (2 ページ)

【訂正前】

3. 修正の理由 (連結・個別)

各種原材料価格の高騰による製造原価の上昇を抑制すべく、生産の効率化、徹底した経費削減施策および販売価格の改定等を実施し収益改善に努めてまいりましたが、原材料費の販売価格への転嫁が十分に浸透出来なかったこと、連結子会社のベトナム進出に伴う起業コストの増加も加わり、収益率が悪化いたしました。

また、株式市場の低迷に伴う保有有価証券評価損等 (73百万円) の計上、不採算部門の廃止に伴う棚卸資産除却損 (81 百万円) および減損損失 (10 百万円) 等を計上したことにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、共に前回発表予想を下回る見込みとなりました。

【訂正後】

3. 修正の理由 (連結・個別)

各種原材料価格の高騰による製造原価の上昇を抑制すべく、生産の効率化、徹底した経費削減施策および販売価格の改定等を実施し収益改善に努めてまいりましたが、原材料費の販売価格への転嫁が十分に浸透出来なかったこと、連結子会社のベトナム進出に伴う起業コストの増加も加わり、収益率が悪化いたしました。

また、株式市場の低迷に伴う保有有価証券評価損等 (126百万円) の計上、不採算部門の廃止に伴う棚卸資産評価損 (81 百万円) および減損損失 (10 百万円) 等を計上したことにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、共に前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以上